

チャンネル間競争の下でのテリトリー制と経済厚生

京都大学 成生 達彦
神戸国際大学 池田 剛士
広島大学 岡村 誠

<報告要旨>

複数の流通チャンネルの間で競争が行なわれている状況において、生産者と小売業者の行動を3段階ゲームとして定式化し、生産者が均衡においてテリトリー制を選択することを示す。さらに、テリトリー制が経済厚生に及ぼす効果について検討する。ある市場に立地する小売業者は、輸送費用を負担すれば、他の市場でも財を販売することができる。この輸送費用が十分に低い場合、市場間輸送によって小売業者数が増えれば、その市場の競争は激しくなり、小売価格は低くなる。逆に、輸送費がある程度高い場合には小売価格が上昇し、消費者厚生が悪化するかも知れない。この状況でのテリトリー制の導入は、無駄な輸送を排除することによってチャンネル（またはフランチャイズ料を徴収する生産者）の利潤を増加させると同時に、消費者厚生をも向上させるという意味で、パレート改善となる。